

事業者アンケート調査結果

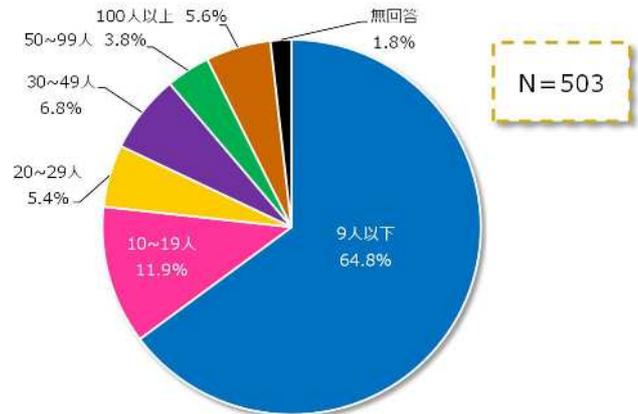
～調査概要～

- 【調査対象】 1,555 事業所（三木商工会議所：1,350 事業所、吉川町商工会：205 事業所）
[注] 三木商工会議所会員については、会報に同封。
- 【調査方法】 郵送による配布、回収
- 【調査期間】 2020年9月18日（金）～10月9日（金）
- 【回収状況】 配布数：1,555 通 回収数：503 通（回収率：32.3%）

問 1 貴事業所の概要についてお尋ねします。（単一回答）

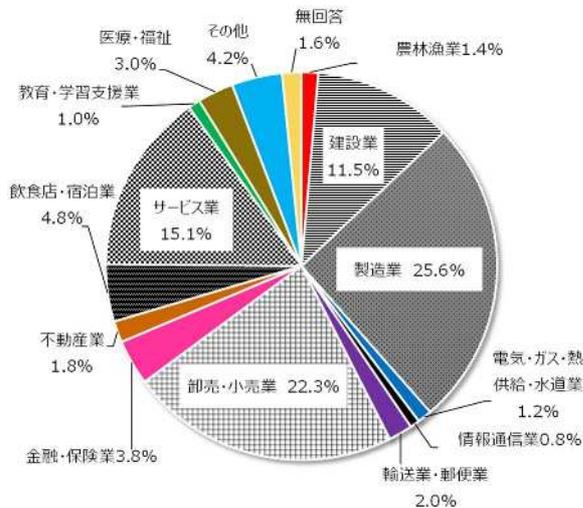
【従業員数】

従業員数は、「9人以下」が64.8%で最も多く、次いで、「10～19人」、「30～49人」などとなっている。



【業種】

業種は、「製造業」が25.6%で最も多く、次いで、「卸売・小売業」、「サービス業」などとなっている。



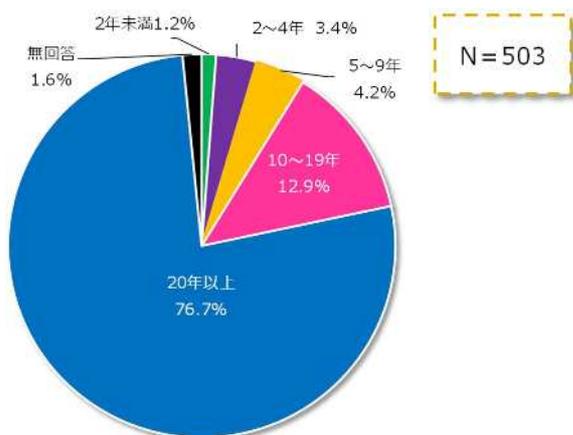
【所在地】

所在地は、「三木地区」が41.9%で最も多く、次いで、「別所地区」、「吉川地区」などとなっている。



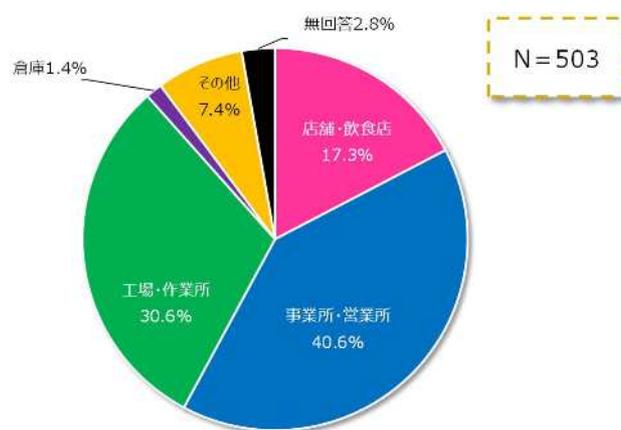
【事業年数】

事業年数は、「20年以上」が76.7%で最も多く、次いで、「10～19年」、「5～9年」などとなっている。



【事業形態】

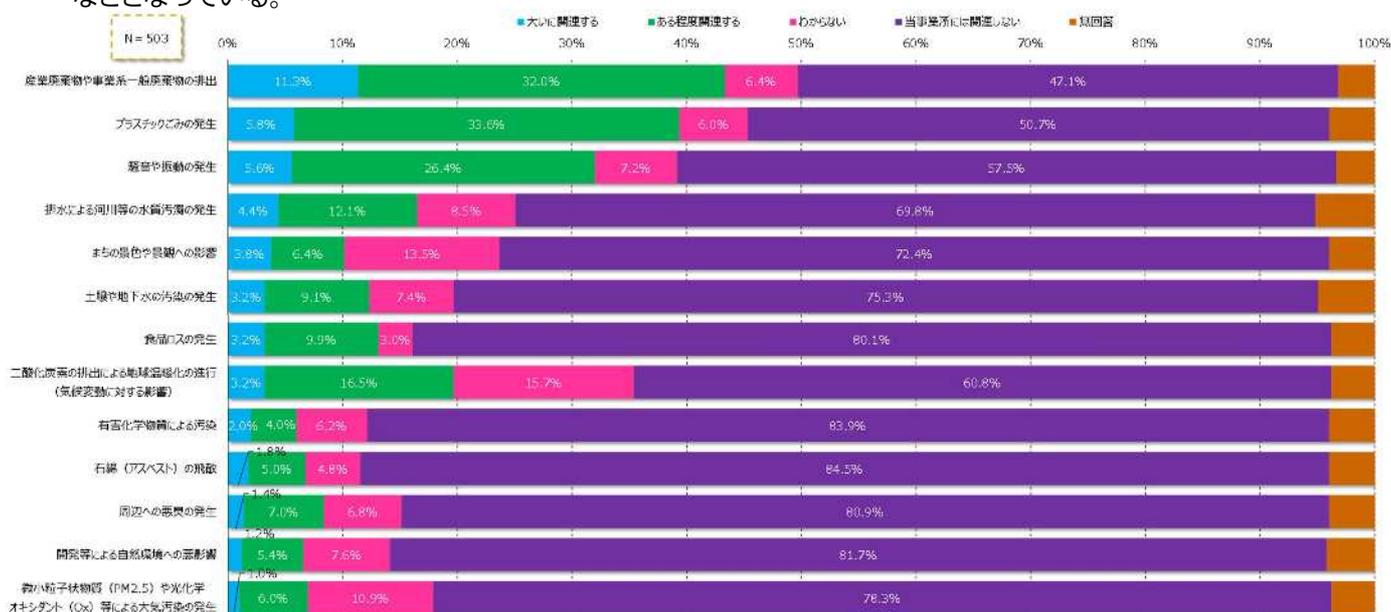
事業形態は、「事業所・営業所」が40.6%で最も多く、次いで、「工場・作業所」、「店舗・飲食店」などとなっている。



問2 貴事業所の事業活動（製造、販売、使用、廃棄など）は、次の環境問題と関連していると思いますか。（単一回答）

【事業活動と環境との関連性】

事業活動と環境との関連性では、「産業廃棄物や事業系一般廃棄物の排出」に関連する（大いに関連する、ある程度関連する）との意見が43.3%で最も多く、次いで、「プラスチックごみの発生」、「騒音や振動の発生」などとなっている。

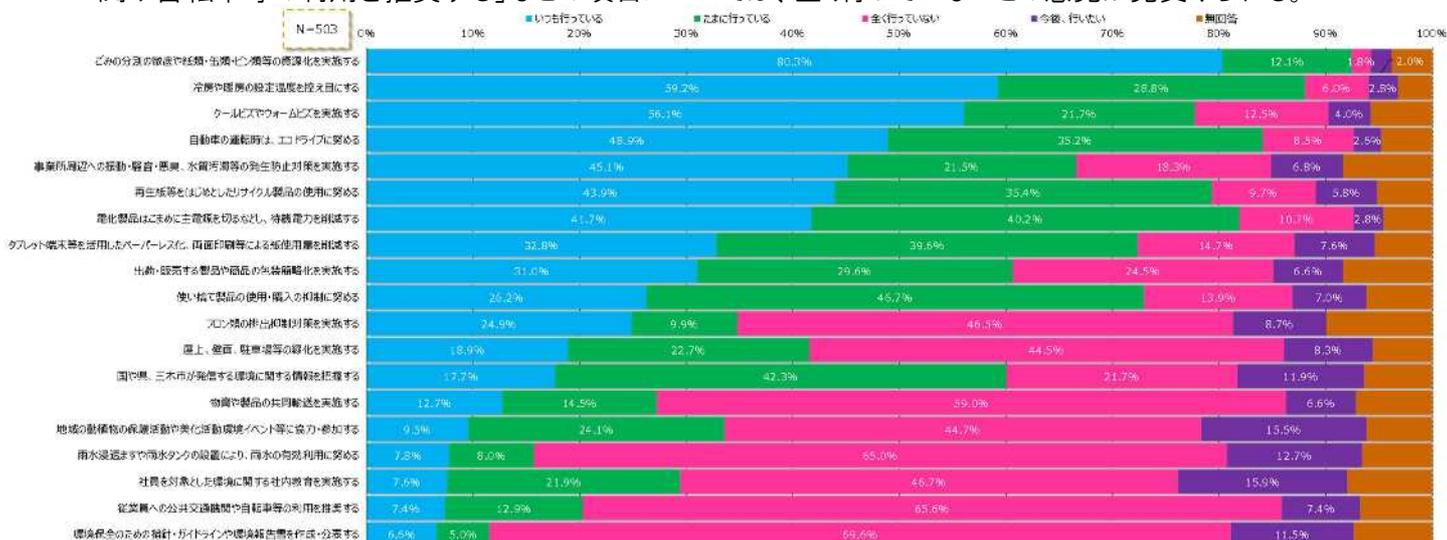


問3 貴事業所では、環境保全のための取り組みについて、日頃どの程度実施していますか。（単一回答）

【取り組み状況】

環境保全に関する取り組み状況では、「ごみの分別の徹底や紙類・缶類・ビン類等の資源化を実施する」を行っている（いつも行っている、たまに行っている）との意見が92.4%で最も多く、次いで、「冷房や暖房の設定温度を控え目にする」、「自動車の運転時は、エコドライブに努める」などとなっている。

一方で、「環境保全のための指針・ガイドラインや環境報告書を作成・公表する」、「従業員への公共交通機関や自転車等の利用を推奨する」などの項目については、全く行っていないとの意見が見受けられる。

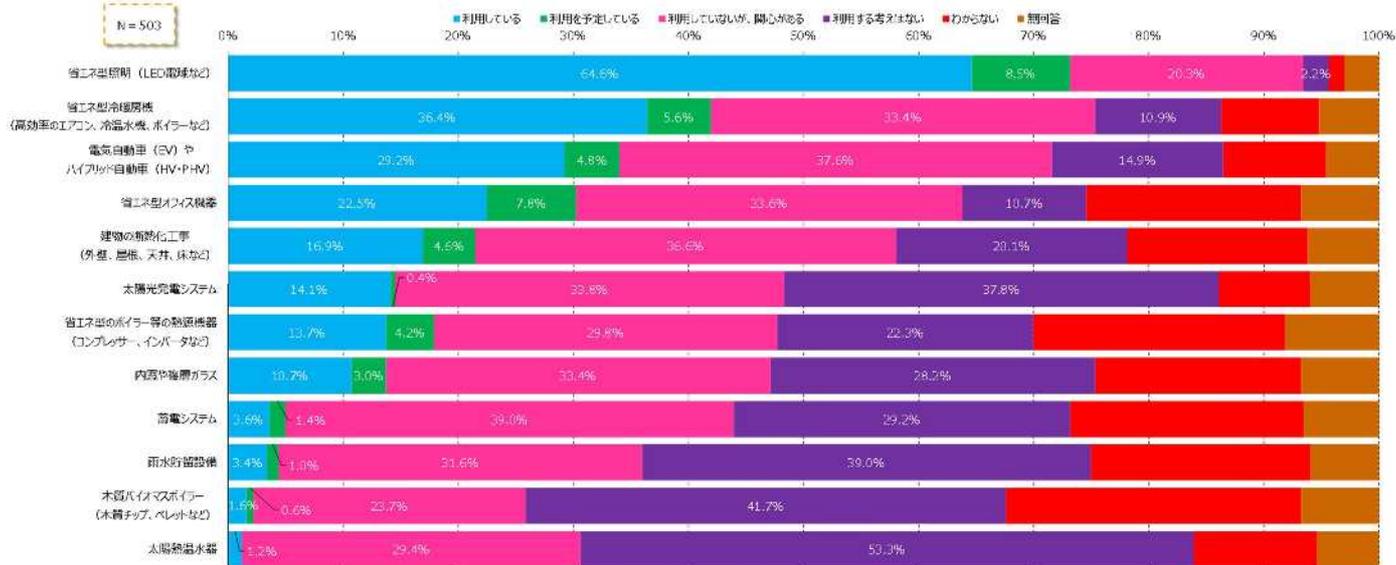


問 4 貴事業所では、再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器を利用していますか。(単一回答)

【利用状況】

再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器の利用状況では、「省エネ型照明(LED電球など)」を利用しているとの意見が64.6%で最も多く、次いで、「省エネ型冷暖房機(高効率のエアコン、冷温水機、ボイラーなど)」、「電気自動車(EV)やハイブリッド自動車(HV・PHV)」などとなっている。

また、利用していないが、関心があるとの意見では、「蓄電システム」、「電気自動車(EV)やハイブリッド自動車(HV・PHV)」などが上位に位置している。



問 5 貴事業所では、環境に配慮した経営管理について、どのように取り組まれていますか。(単一回答)

【環境に配慮した経営管理】

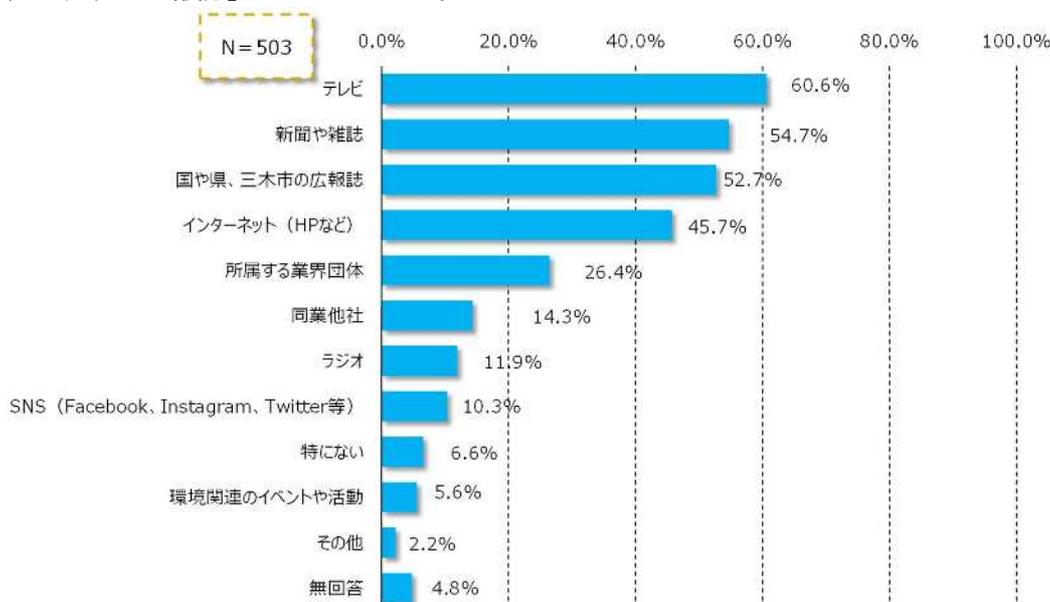
事業所における環境に配慮した経営管理の状況では、「ISO14001の認証」を実施済との意見が5.6%、「環境報告書やCSR報告書の作成」が4.8%などとなっている。全体を通じて、環境に配慮した経営管理に取り組んでいる事業所の割合は少なく、普及が進んでいない状況だが、興味はあるとの回答も一定数見られる。



問 6 貴事業所では、環境に関する情報を主にどこから入手していますか。(複数回答)

【環境に関する情報の入手手段】

環境に関する情報の入手手段については、「テレビ」との意見が 60.6%で最も多く、次いで、「新聞や雑誌」、「国や県、三木市の広報誌」などとなっている。

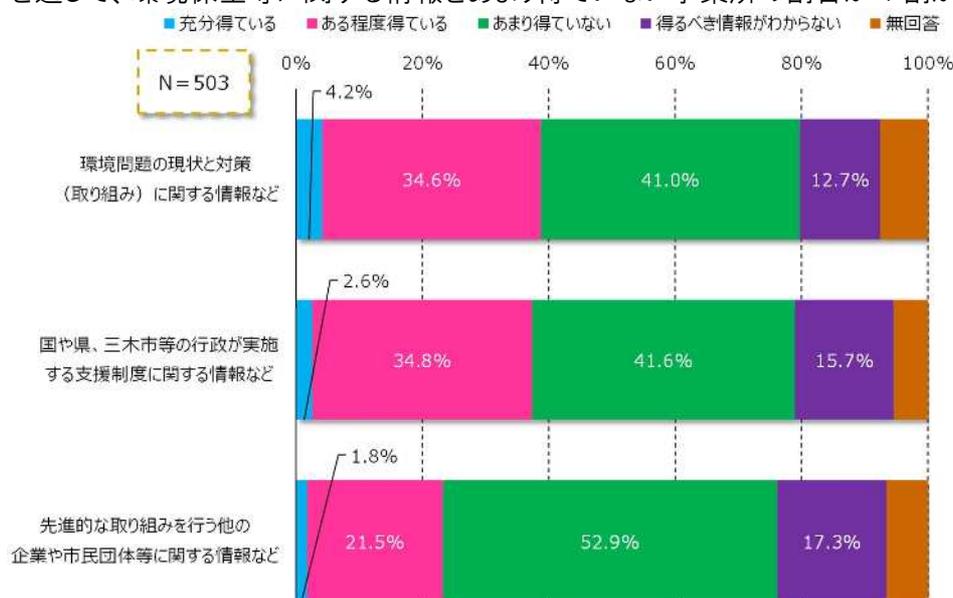


問 7 貴事業所では、環境保全等に関する情報をどの程度、得ていますか。(単一回答)

【環境保全等に関する情報の取得状況】

環境保全等に関する情報の取得状況では、「環境問題の現状と対策(取り組み)に関する情報など」を得ている(充分得ている、ある程度得ている)との意見が 38.8%で最も多く、次いで、「国や県、三木市等の行政が実施する支援制度に関する情報など」、「先進的な取り組みを行う他の企業や市民団体等に関する情報など」となっている。

また、全体を通じて、環境保全等に関する情報をあまり得ていない事業所の割合が 4 割から 5 割となっている。

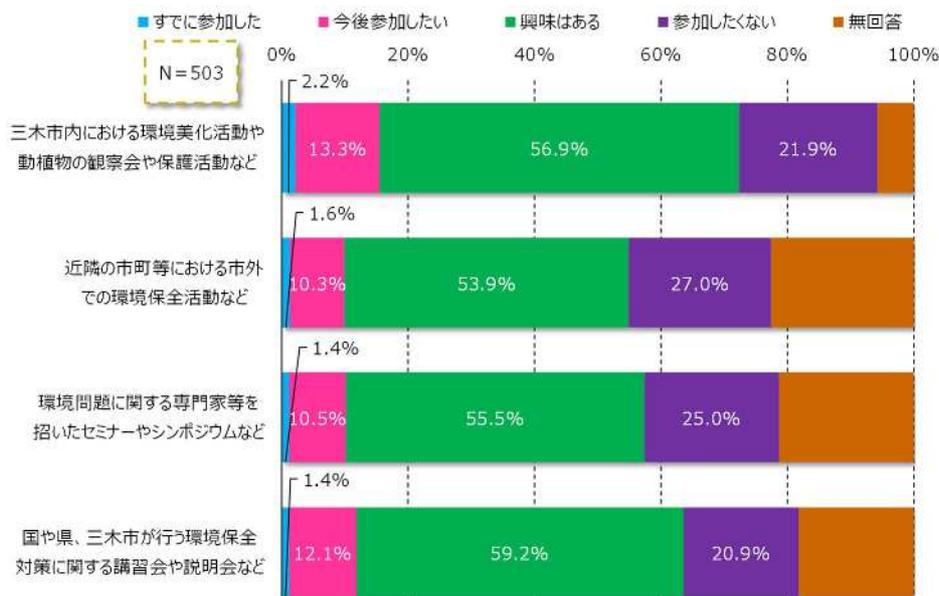


問 8 三木市のより良い環境のために、貴事業所として、環境保全に関するセミナーや活動等に参加してみたいですか。(単一回答)

【環境保全に関するセミナーや活動への参加意向】

環境保全に関するセミナーや活動への参加意向では、「三木市内における環境美化活動や動植物の観察会や保護活動など」にすでに参加したとの意見が 2.2%、「近隣の市町等における市外での環境保全活動など」が 1.6%などとなっている。

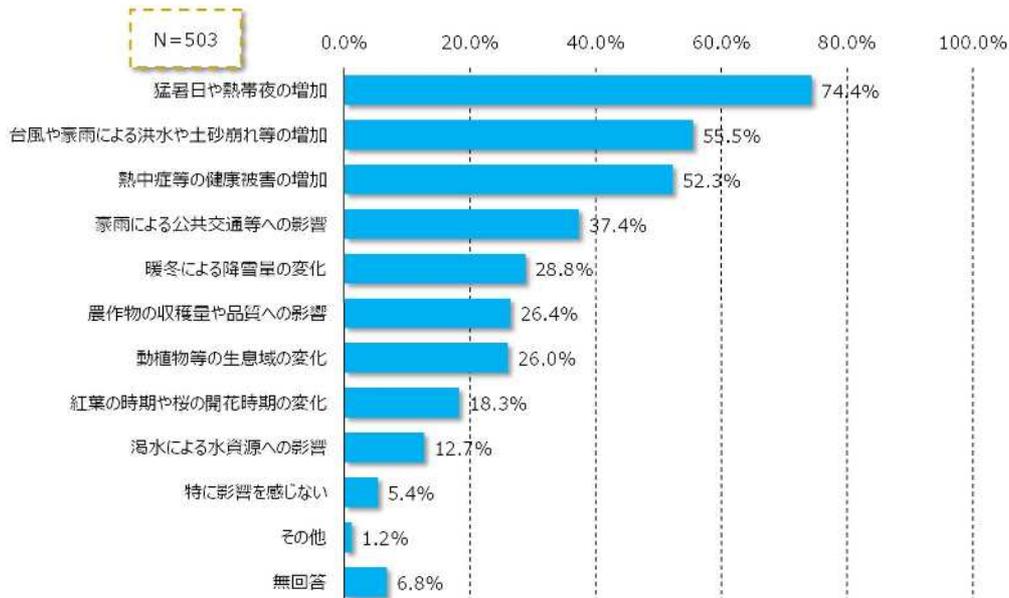
また、全体を通じて、環境保全に関するセミナーや活動に今後参加したいとの事業所の割合が 1 割程度、興味はあるとの事業所の割合が 5 割程度となっている。



問 9 近年、地球温暖化による影響が各分野に現れています。三木市内で発生している影響として、貴事業所で特に実感しているものはありますか。(複数回答)

【地球温暖化による影響の実感】

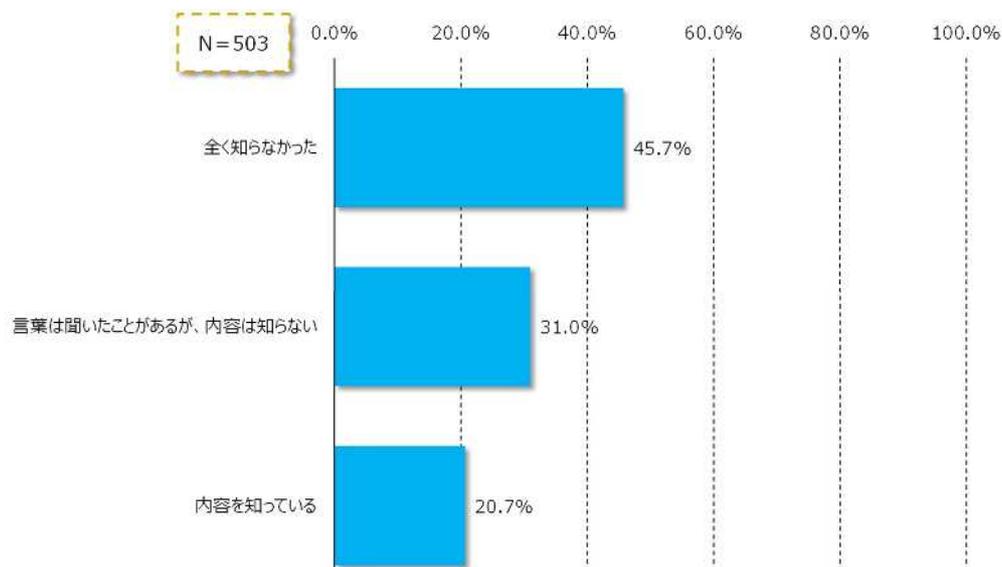
地球温暖化による影響の実感では、「猛暑日や熱帯夜の増加」との意見が 74.4%で最も多く、次いで、「台風や豪雨による洪水や土砂崩れ等の増加」、「熱中症等の健康被害の増加」などとなっている。



**問 10 貴事業所では、持続可能な世界を実現するため、先進国と発展途上国の全ての国が取り組む国際社会共通の目標となる「SDGs」を知っていますか。
(単一回答)**

【「SDGs(持続可能な開発目標)」に関する認知度】

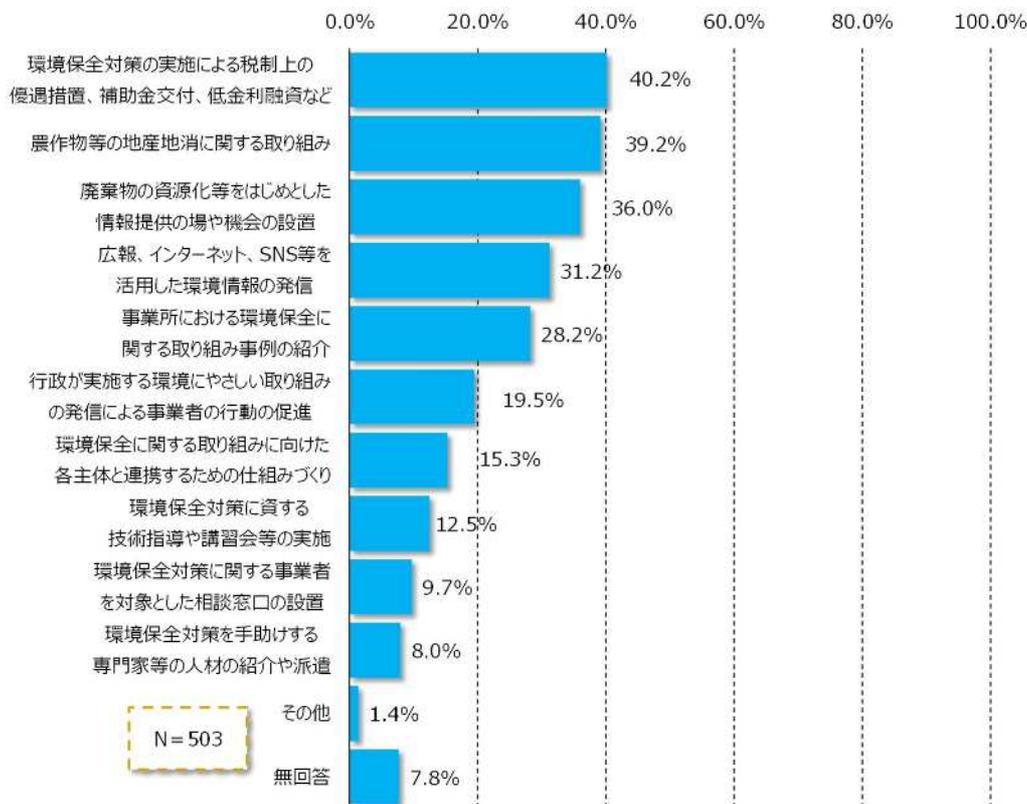
「SDGs(持続可能な開発目標)」に関する認知度では、「全く知らなかった」との意見が 45.7%で最も多くなっている。



問 11 より良い環境を目指していく中で、貴事業所は、三木市の取り組みとして、どのような分野に力を入れていくべきだと思いますか。（複数回答）

【三木市が力を入れていくべき分野】

環境保全に関して、三木市が力を入れていくべきと思う分野では、「環境保全対策の実施による税制上の優遇措置、補助金交付、低金利融資など」との意見が 40.2%で最も多く、次いで、「農作物等の地産地消に関する取り組み」、「廃棄物の資源化等をはじめとした情報提供の場や機会の設置」などとなっている。



問 12 三木市の環境保全に関する取り組みや地域の環境問題などについて、御意見・御要望などがありましたら、御自由にお書きください。（自由記述）

主な内容としては、情報発信、ごみの排出や分別、プラスチックごみ、空き家などについての意見が寄せられた。